

## 準備

コンテナのIDをいちいち保持しておくのは面倒，忘れるので，以下のaliasをホスト側で設定しておく  
と直近に起動したコンテナのIDを呼び出すことができるようになり便利 [（15 Docker tips in 5 minutes）](#) 。

```
alias dl='docker ps -l -q'
```

## コンテナ

コンテナを作成する。 `-d` オプションでバックグラウンドで実行する。

```
docker run -d ubuntu /bin/sh -c "while true; do echo hello world; sleep 1; done"
```

コンテナを停止する。

```
docker stop `dl`
```

コンテナを起動する。

```
docker start `dl`
```

コンテナを再起動する。

```
docker restart `dl`
```

起動中のコンテナに接続する。

```
docker attach `dl`
```

コンテナ内のファイルをホストにコピーする。

```
docker cp `dl`:/etc/passwd .
```

ホストのディレクトリをコンテナにマウントする。

```
docker run -v /home/vagrant/test:/root/test ubuntu echo yo
```

コンテナを削除する。

```
dockr rm `dl`
```

## コンテナの情報

起動中のコンテナを表示する。停止中のコンテナも表示するには， `-a` オプション。

```
docker ps
```

コンテナの情報（IPなど）を表示する。

```
docker inspect `dl`
```

コンテナのログを表示する。

```
docker logs `dl`
```

コンテナのプロセスを表示する。

```
docker top `dl`
```